



双海エリア

Futami area

双海町は、「なにもない」を味方につけたまち。

「しずむ夕日が立ちどまるまち」をキャッチフレーズに、
どこにでもある夕日の風景を

心に残る特別なものに変えてしまった。

最近では、「下灘駅」や

「ふたみシーサイド公園(道の駅ふたみ)」が人気だけど、

なにより、まちを裏で支える人たちの心強いこと！

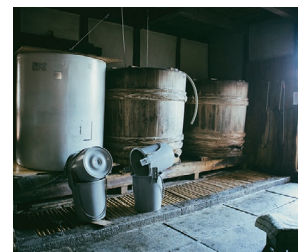
誰かを追い越そうとするのではなく、

一緒に盛り上がっていこうという気持ちが素敵。

通りすぎるだけじゃもったいない。

たくさん寄り道しながら、

まだまだある双海の“素敵”にアクセスしてみよう。



Futami

Futami is a town of sea and mountains, studded with breathtaking scenery. Buy some take-out food like *jakoten* fish cakes and fresh-baked bread and enjoy the views.

Futami 04 ふたみシーサイド公園

ふたみシーサイド公園 (道の駅ふたみ)



ふたみシーサイド公園に行くとき必ず買うのが、じゃこてんと土・日・祝限定のドーナツ。おばちゃん達がおしゃべりしながら、楽しそうに働いている姿を見るところにも元気になる。できたてを持って、そのまま海岸へ。ぼ〜と海を眺めながら食べるのが、至福の時間。いつ行っても人がいっぱいいてにぎわっている場所。

Futami 05 くじら

くじら

ソフトクリームとたこ焼きが人気の珍味屋さん。お店の中は、いりこ、イカのくちばしを干した「とんぴ」などの珍味、関木醤油店の「三歳醤油」ほか、双海が誇るおいしいものがぎっしり。ベンチでのんびり海を眺めていると、すぐ後ろの線路を一両の列車が走る。双海ならではの風景を味わいながらひと休みできる場所。



Futami 07 ラ・メール

ら・めーる



山小屋風の店内から海を望める、昔ながらの喫茶レストラン。グラタン、ローストチキン、スパゲッティのほか、コース料理もある本格派。おすすめは、薄く四角に焼いたカリカリのピザ! テラス席もあるので天気の良い日はぜひお外で。店内には、お客さんからもらったという置物がたくさんあって、みんなに愛されてきたお店ということがわかる。

Futami 03



米ぬか酵素風呂 酵素まる

こめぬかこうそぶろ こうそまる



あたたかい米ぬかの中に埋もれて約20分。じっくり汗をかいて、からだの奥底の「冷え」をとる「酵素風呂」のお店。カフェも併設していて、ドリンクや予約制のランチもある。店主のまりさんは人と人をつなぐ人。ここに行けば、双海の情報はなんでもそろろ!? からだも心も癒されるパワースポット。

Futami 06 夕焼けぴちぴち市

ゆうやけぴちぴち市



下灘の豊田漁港は、国内でも有数のハモの水揚げ量を誇る。しかしその大半が地元で消費されることなく、京都の料亭など県外へ出荷されるのだそう。理由は、ハモの骨切りが難しいから。「ハモをもっと地元の人に味わってもらいたい」。そんな想いでこの店を立ち上げたのが漁港の女性部メンバー。骨切りを習得し、捌いたハモのほか、ハモカツバーガーを販売し、大人気!

Futami 01

海風窯

うみかぜがま

双海の家・風・山を感じながら、シーサーを作ることができる工房。なぜシーサーなのかというと、窯主の二宮さんが沖縄の窯元で修行をしていたから。釉薬には、かつて海風窯のある高野川で採掘され、砥部焼の釉薬に使われていたという地元陶石を使用。沖縄と双海がつながるおもしろい体験ができる。愛らしいシーサーは、家の守り神になってくれるはず。



Futami 02

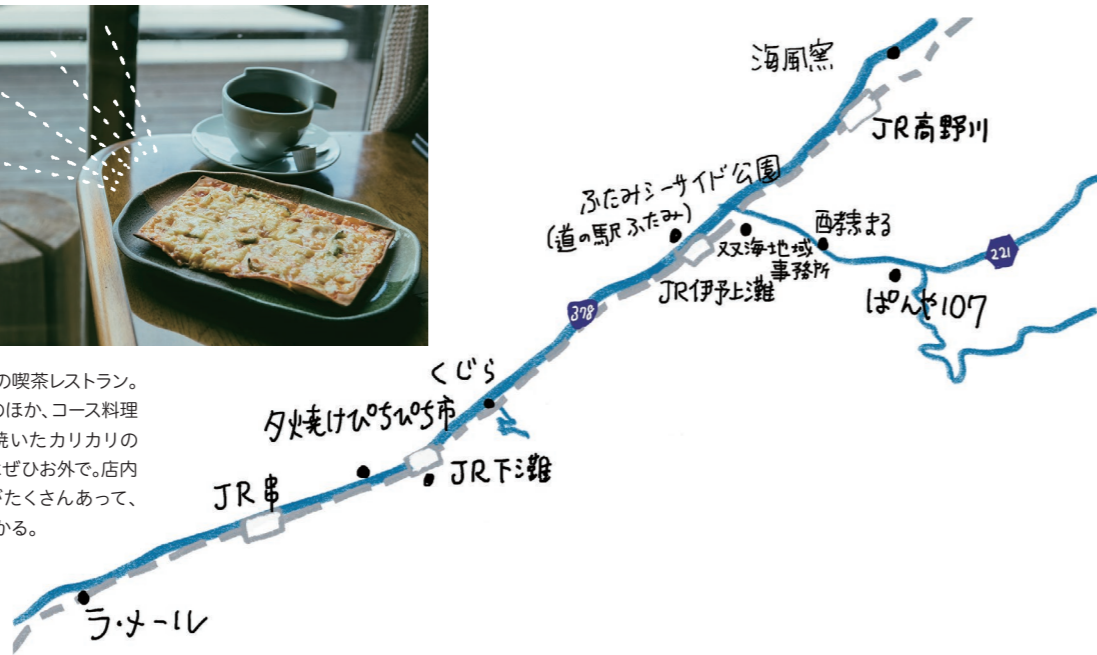


ぱんや107

ぱんやいちまるなな



ぱんや107は、東京から移住してきた伊藤ファミリーが営むパン屋さん。双海に移住を決め、「双海にあったらいいなというものはありませんか?」と地元の方に尋ねたところ、「焼きたてのパンが食べられる店がない」との声。それでパン屋をつくってしまうのだからすごい! 無添加生地、国産小麦100%のやさしいパンを味わえる。



景色とつながる癒しのまち。

人・食・自然、いろんなものから元気をたくさんもらえる!

双海は、夫の実家があるまちだから、なんだか身近な存在。当たり前前にそこにあつた「下灘駅」が、こんな風に大人気になるとは思いもよらなかったけど、たくさんの方が双海に興味を持ってくれるのは、とても嬉しい。

誤解を恐れず言うと、双海は女性が元氣な町だと思ふ。今回紹介するお店のほとんどが、女性が主役となつて切り盛りしている。女性ならではのネットワークで支え合っているのが素敵。みんな明るく、仲良しで、つながつていて、会話ははじから、「双海が大好き」という気持ちにじみ出ている。そんな朗らかな人柄は、双海自然环境からつくられているのかもしれない。

おいしいものをテイクアウトして腰掛ければ、そこが山でも海でも、あつという間にピクニック。どこに行つても完璧な自然が用意されている。手作りのお菓子やパン、じゃこてんやハモカツなど、おいしいものもたくさん。買うと元氣いっぱい渡してくれるので、こちらまで笑顔がこぼれる。双海に行くとなつて元氣になるのは、人・食・自然の3つが揃つているからだろうな。

The people of Futami are full of life. Talking to them was invigorating.